# From Shinjuku to Kagurazaka Research Project on the Urban Landscape 2006-2008 and more...

#### **NAKAJIMA Shin**

Urban Design Laboratory
Department of Urban
Engineering,
Graduate School of Engineering,
The University of Tokyo

2006-2007

# Background

### Preparation for New Landscape Plan of Shinjuku City

Shinjuku intends to revise the present landscape ordinance and landscape plan based on the new landscape law.





Urban Design Lab carry out basic research on landscape for the plan.

"Research Project on the Urban Landscape"



# Analyze the landscape



## guideline for the formulation of landscape

#### 下落合斜面地エリア

東西に連続する斜面緑地がこのエリアの特徴です。周辺の中でも特に色濃く連続するみど りの帯は、幹線道路の喧騒と台地上の良好な住宅地を区切る役割を果たしています。エリ ア内には、おとめ山公園や野鳥の森公園、薬王院など豊かなみどりを有する公共的施設が 集中してるだけでなく、斜面にある宅地内にもみどりが色濃く受け継がれています。また、 斜面地に連続して並ぶ坂道は右へ左へと曲がり奥行きのある景観となっています。



#### 景観特性





地形がひだのように入り組んでいます。 谷戸(やと)と呼ばれるすり鉢状の谷 地が見られ、景観的なまとまりとなっ







アイストップ

← 谷地の中心軸線

エリアの節度

4 ■要な板道

#### エリア内には薬王院や聖母病院、日立目白クラ ブなどの景観資源が多数存在しています。

#### 1. 連続する斜面緑地の連なり



みどり豊かな斜面緑地がこのエリアの最 大の特徴です。おとめ山公園や野鳥の森 公園、薬王院などの公共的施設にまとま ったみどりがあります。かつて近衛邸や 相馬邸、徳川別邸など、斜面地には大邸 宅がならんでおり、現在でも宅地内部に おけるみどりが景観ト重要な役割を果た しています。

#### 2. 東西に並ぶ坂道の変化ある景観 3. 高低差の大きい地形



下みどり豊かな斜面緑地がこのエリアの 最大の特徴です。おとめ山公園や野鳥の 森公園、薬王院などの公共的施設にまと まったみどりがあります。かつて近衛邸 や相馬邸、徳川別邸など、斜面地には大 邸宅がならんでおり、現在でも宅地内部 におけるみどりが景観ト重要な役割を果 たしています。

公園・緑地等

☆ ランドマーク

■ 地区を象徴する建築物



高低差が15~20mもあるこのエリア では、近くのみどりから遠くのみどりま で一望にでき、奥の要素が手前の要素と 重なり合う奥行きのある景観を生み出し ています。また、谷戸(やと)と呼ばれ るすり鉢状の谷地がみられ、景観的なま とまりをつくりだしています。

#### 景観形成の目標

#### 坂道と斜面緑地をいかしたみどり豊かなまちなみへ

台地と低地の緩衝帯である斜面地エリアでは、周囲にも寄与する連続的な 緑地を資源としながら、周辺環境にも配慮した景観形成を行う。

#### 景観形成の方針

#### 1. 斜面緑地を保全、創出する

#### 景観形成の考え方

貴重な景観資源である斜面緑地を保全し、将来にわた って継承していく

#### 具体的な方策

- 既存樹木を保全する
- 新植の場合には、既存樹木と調和した樹種を選定する
- 樹木の生育環境に配慮し、透水面を確保する
- 大幅な地形の改変は避ける

#### 2. 斜面緑地をいかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

斜面地はその高低差により、みどりを一望にできると いう特性を持っている。この特性をいかし、みどり豊 かな奥行き感のある斜面地の景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 南側に高さのあるみどりを配置し、建築物が可能な限りみえな いようにする
- 色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に彩度の高い ものは避ける
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないように配慮する
- 外壁の素材は、自然素材のものを使用する
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う

#### 3. 坂道をいかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

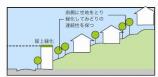
坂道や曲がりなどと一体となった、豊かなみどりが感 じられる景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 垣・さくなどは牛垣や閉鎖的でないフェンスとする
- 擁壁の上部のかき・柵は高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し圧迫感を与えないものとなるよう工夫する (壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る)
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 視線が集中しやすい坂の折れ曲がり部分などでは、積極的に緑
- 聖母坂通り沿いでは、快適な歩行者空間となるよう壁面や擁壁 の位置を後退させ、ゆとりをつくる



斜面緑地の緑



斜面緑地の景観形成



坂道をいかした景観

2007-2008

## Guide book for the formulation of landscape



# Landscape Symposium of Shinjuku





2008-2009

Meeting to Explain to Local People



# Kagurazaka Town Walking



## Kagurazaka Architecture School



Discussion about urban preservation with NPO, Local people

## Next Step in Kagurazaka



What will we have as an expert of the urban design / urban panning in Kagurazaka?